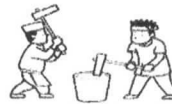




食育だより 1月



練馬区立豊玉中学校

いよいよ1年のしめくりとなる3学期が始まりました。風邪やインフルエンザなどの感染症が流行する季節です。引き続き、手洗いうがいの徹底と規則正しい生活、栄養バランスの良い食事を心がけ、普段よりも健康管理に注意をしましょう。学校給食においても、より一層、衛生面に注意を払い、安心・安全な給食が提供できるよう取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

全国学校給食週間の始まり

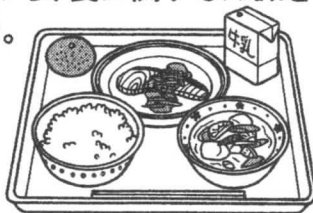
明治22年に始まった給食は、戦争中に一時中断しましたが、ララ(米国の民間団体)などからの援助物資を受けて昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉で再開されました。この日を記念して、「学校給食感謝の日」と定められましたが、その後、冬休みに重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とし、給食の意義や役割について、理解や関心を深める週間となりました。



学校給食の役割とは？

学校給食の始まりは、栄養不足から救うためのものでした。しかし、今では、栄養補給の役割のほかにも、食品を選択する能力、食事のマナー、感謝の心、地域食材や郷土料理などについて学ぶ教材としての役割もあります。

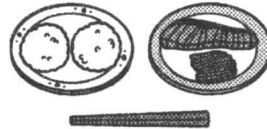
給食を味わいながら、食に関する知識を学んでいきましょう。



日本の学校給食のあゆみ



明治22年



献立内容

おにぎり、塩さけ、菜の漬物

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町忠愛小学校で、貧しくて生活に困っている児童を対象に昼食を出したことが始まりだとされています。

昭和22年



献立内容

ミルク(脱脂粉乳)、トマトシチュー

戦後、栄養失調状態の子どもたちを救うためアメリカの民間団体からの援助物資(ララ物資)により、昭和21年12月24日に学校給食が再開されました。

昭和25年



献立内容

コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、ポタージュスープ、コロッケ、せんキャベツ、マーガリン

アメリカからの奇蹟小麦を使用したパン、ミルク、おがずによる完全給食が8大都市で実施されました。

昭和40年



献立内容

ソフトめんのカレーあんかけ、牛乳、甘酢あえ、果物(黄桃)、チーズ

昭和39年以降、学校給食に本格的に牛乳が取り入れられるようになりました。

昭和52年



献立内容

カレーライス、牛乳、塩もみ、果物(バナナ)、スープ

米飯は、教育上有意義と考えられ、昭和51年度以降は米飯給食が広がりました。

給食費の引き落としが、1月15日にできなかった保護者の皆様
1月の再引き落としは、1月28日(月)です。



引き落とし前日までにご入金をお願いいたします。万が一、引き落としできなかった場合は、学校に現金をお持ちいただくこととなります。健全な給食運営のため、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

12月の主な食材の産地			
牛乳	北海道 青森 秋田 岩手 宮城 群馬 千葉		
人参	埼玉	玉ねぎ	北海道
ねぎ	千葉 群馬	じゃがいも	北海道
青梗菜	茨城	みかん	和歌山
大根	千葉 神奈川	きゅうり	群馬
白菜	茨城	ごぼう	愛知 青森
キャベツ	愛知	にら	茨城
もやし	栃木	きのこ類	長野
小松菜	練馬区	にんにく	青森
しょうが	高知	ピーマン	茨城
ほうれん草	東京	ぶたにく	群馬 青森
セロリー	静岡	鶏肉	長野 宮崎